

平成26年（ネ）第126号 大飯原発3, 4号機運転差止請求控訴事件

一審原告 松田正 外184名

一審被告 関西電力株式会社

証 拠 説 明 書

平成29年1月24日

名古屋高等裁判所金沢支部民事部第1部C1係 御中

一審原告ら訴訟代理人弁護士 佐藤 辰 弥

同 弁護士 笠原 一 浩

ほか

*以下はすべて写しである。

号 証	標 目 (原本・写しの別)	作 成 年月日	作成者	立 証 趣 旨	備考
甲422	震源断層を特定した地震の強震動予測手法（「レシピ」）	H28.12.9	地震調査研究推進本部 地震調査委員会	島崎邦彦氏の問題提起等を受けて推本のレシピが修正されたこと	http://www.jishin.go.jp/main/chousa/16_yosokuchizu/recipe.pdf
甲423	地震本部ホームページ「全国地震動予測地図2016年版」	H29.1	同上	平成28年12月9日付けの「レシピ」の修正について、地震本部では「表現の誤り等を訂正しました」としていること	http://www.jishin.go.jp/evaluation/seismic_hazard_map/shm_report/shm_report_2016/

号 証	標 目 (原本・写しの別)	作 成 年月日	作成者	立 証 趣 旨	備考
甲424	地震本部ホームページ 「地震調査研究推進本部 委員名簿一覧」	H29.1	地震調査 研究推進 本部	東京大学地震研究所教授の額 額一起氏が地震本部の強震動評 価部会の部会長と同部会の強震 動評価手法検討分科会の主査を 務めていること	http:// www. jis hin. go. jp/about/ commi ttee/me mber/
甲425	週刊東洋経済 第6704号 82、83頁 「熊本地震で新たな知 見？ 地震動過小評価は 防げるか」	2017(H29). 1.21	東洋経済 新報社	平成28年12月9日付けレ シピ修正の趣旨 レシピ(ア)と(イ)を安全審 査で併用し複眼的な視点での審 査を行うことで基準地震動の過 小評価を防ぐことができること 新知見を原発の安全審査に取り 込むことは、福島原発事故で失 った信頼を取り戻すためには欠 かせないプロセスであること	
甲426	大分合同新聞「活断層と 揺れ予測 熊本地震の教 訓 強さ、過小評価の恐 れ」	H28.12.19	大分合同 新聞	(ア)の手法をでも断層の幅を 18km以上に設定しておけば過 小評価のおそれは減らせること 大飯原発のように活断層のす ぐそばにある原発は、特に大きな 余裕を見ておかなければなら ないこと 余裕が十分なのか客観的に確 かめられていないため、基準地震 動の審査が審査官のさじ加減に 委ねられていること	
甲 427	日本地震学会2016年 度秋季大会予稿 S15-03 「熊本地震を踏まえた強 震動評価の課題(その 1)」	H28.9	森川信之 藤原広行 岩城麻子 前田宜浩	熊本地震の地震規模について はレシピ(ア)の手法でも(イ) の手法でも過小評価となったお それがあること 熊本地震のM6.5の「前震」 で観測された震源断層ごく近傍 の揺れを現在のレシピの枠組み において予測・再現することはほ ぼ不可能であること	
甲 428	日本地震学会2016年 度秋季大会予稿 S15-04 「熊本地震を踏まえた強 震動評価の課題(その	H28.9	藤原広行 森川信之 岩城麻子 前田宜浩	藤原広行氏らが提案する、熊本 地震を踏まえた強震動評価手法 改善のための試案の内容	

号 証	標 目 (原本・写しの別)	作 成 年月日	作成者	立 証 趣 旨	備考
	2)」				
甲 429	質問回答書 1	H28.12.18	藤原広行	函館地裁に係属している大間原子力発電所関係の事件で実施された書面尋問において、防災科学技術研究所の藤原広行氏が証言した内容	
甲 430	京都大学防災研究所年報第 47 号 A 「強震動予測レシピー大地震による強震動の予測手法ー」	H16.4	入倉孝次郎	Fujii and Matsu'ura(2000)の応力降下量は知見として未成熟なものであること	http://www.kojiro-iriku-ra.jp/pdf/DPRI_anual2004_irikura_rev23.pdf
甲431	2016年10月21日鳥取県中部の地震の評価	H28.10.22	地震調査研究推進本部	2016年鳥取県中部地震の概要	http://www.static.jishin.go.jp/resource/monthly/2016/20161021_tottori.pdf
甲432	新聞記事「鳥取県中部の地震 未知の断層が原因 政府調査委見解」	28.10.22	毎日新聞	鳥取県中部地震は未知の断層が動いたことが原因であること	http://mainichi.jp/articles/20161023/k00/00m/040/057000c
甲433	2016年10月21日鳥取県中部の地震による強震動	2016(H28)10.21	防災科学技術研究所	鳥取県中部の地震によって観測された最大の加速度は、K-NET倉吉 (TTR005) で観測された1381ガル(東西方向)とされていること	http://www.kyoshin.bosai.go.jp/kyoshin/topics/html20161021140710/main_2016021140710.html

号 証	標 目 (原本・写しの別)	作 成 年月日	作成者	立 証 趣 旨	備考
甲 434	パンフレット「ひずみ集中帯の重点的調査観測・研究」		防災科学技術研究所	大飯原発の立地する地域が新潟—神戸ひずみ集中帯（NK TZ）に当たること	http://www.hizumi.bosai.go.jp/pdf/pamphlet.pdf
甲 435	日本地震学会広報誌「なみふる」No.107，04-05頁 「西日本のひずみ集中帯」	2016.10	西村卓也	大飯原発の立地する地域が京都大学西村卓也准教授が提唱する西日本ブロック仮説のブロック境界上に当たること	http://www.zisin.jp/pdf/nf-vol107.pdf